

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の食料の備蓄について、母体での備蓄はしているものの、当事業所単体では備蓄されていない。震災など、交通状態がストップされると、母体からの支援に時間を要することとなる。特に水道が止まると、心身ともに影響を強く受けることがかんがえられる。	母体だけではなく、事業所単体での災害時の水、食料を確保・備蓄する。	缶詰など期限の永い物や常温などで簡易的に保存ができる物を準備する。また、少量であっても、栄養価の高いものなども検討する。	3か月
2	35	以前と比べ、災害時の地域との協力体制を含めて関係が薄れてきていると思われる。	日常の関りは制限されるが、災害など「何かあった時」には協力できる体制、協力していただける関係を築く。	今後の運営推進会議や回覧板などを用いて、災害時の協力体制を浸透していけるよう取り組んでいく。「ぬくもりの里」自身から協力していける体制を整え、地域へ発信していく。	1年
3	20	コロナ禍で、外出自粛や密を避ける取り組みにより、地域やご家族との関りが激減している。	少人数でのドライブなど、密を避けるなどの感染予防対策をおこないつつ、外に出る楽しみを図る。また、ご家族様や知人との関りを継続できるよう、玄関先での対話なども継続していく。	マスクの着用や消毒などの感染予防対策の徹底、密を避けた配置などを考慮した企画を提案・実現させ、入居者様の楽しみを確保していく。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。